

# ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

## 運用報告書(全体版) 第24期

(決算日 2019年12月16日)

(作成対象期間 2019年6月18日～2019年12月16日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
20期末(2017年12月18日)	8,318	0	10.3	10,324	11.8	95.1	1.8	41,860
21期末(2018年6月18日)	7,828	0	△ 5.9	9,886	△ 4.2	96.3	2.0	37,720
22期末(2018年12月17日)	7,256	0	△ 7.3	9,612	△ 2.8	95.8	2.5	30,947
23期末(2019年6月17日)	7,734	0	6.6	10,210	6.2	94.0	3.0	26,997
24期末(2019年12月16日)	8,063	0	4.3	10,333	1.2	94.9	3.4	24,676

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

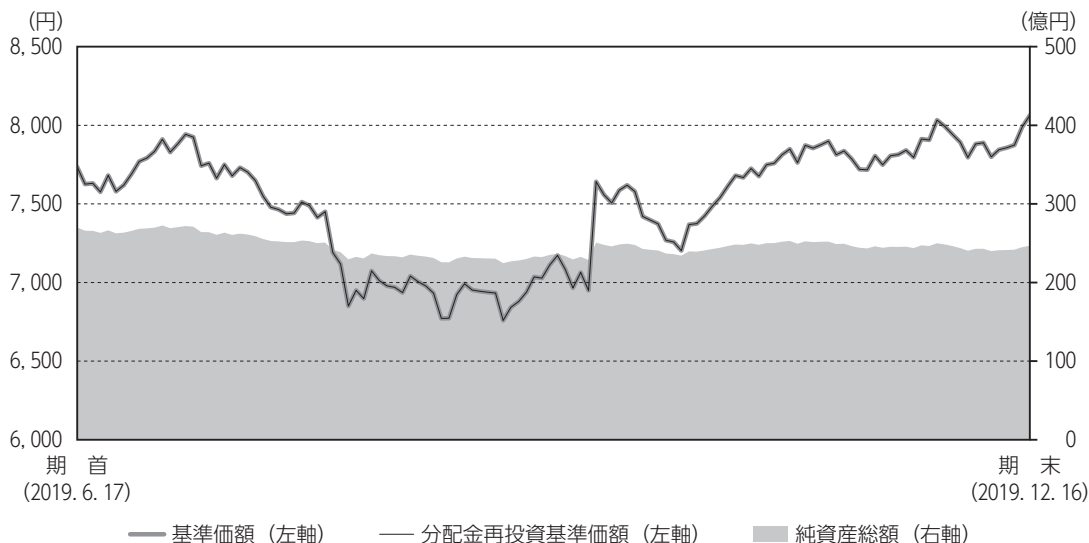
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：7,734円

期末：8,063円（分配金0円）

騰落率：4.3%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてインド株式に投資した結果、インド政府が法人税減税などの景気刺激策を発表したことを好感し保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I インド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2019年6月17日	7,734	—	10,210	—	94.0	3.0
6月末	7,792	0.7	10,194	△ 0.2	95.3	3.0
7月末	7,414	△ 4.1	9,688	△ 5.1	95.4	3.0
8月末	6,944	△ 10.2	9,146	△ 10.4	94.5	3.2
9月末	7,619	△ 1.5	9,710	△ 4.9	95.5	3.2
10月末	7,849	1.5	10,131	△ 0.8	94.8	3.2
11月末	7,994	3.4	10,283	0.7	94.8	3.4
(期末)2019年12月16日	8,063	4.3	10,333	1.2	94.9	3.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

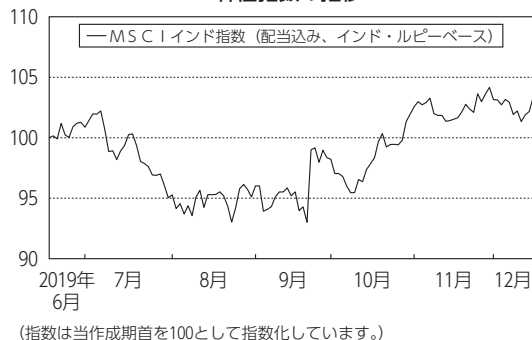
(2019. 6. 18 ~ 2019. 12. 16)

## ■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より横ばいで推移しましたが、その後は、さえない企業決算や経営陣による弱い業績見通しに加えて目立った景気刺激策がなく、海外投資家に対する追加課税が盛り込まれた政府予算案が悪材料視されたことから、軟調な展開となりました。2019年8月以降は、米中の対立や市場予想を下回る実質GDP（国内総生産）成長率の発表が懸念材料となった一方、新たな景気刺激策の発表や海外投資家に対する増税案の取り下げが好感され、一進一退の推移が続きました。9月半ばには、インド政府が法人税減税などの景気刺激策を発表すると大きく上昇し、その後も10月上旬からのフェスティバル・シーズンにおける堅調な個人消費への期待を背景に続伸しました。11月以降は、景気刺激策の発表が支援材料となったものの、大手格付会社による格付け見通しの引き下げや、さえない実質GDP成長率の発表などが重荷となり、横ばい圏で推移しました。

株価指数の推移



## ■為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落（円高）しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、米中通商協議の進展期待によるリスク許容度の上昇などを背景に、対円で上昇して始まりました。2019年8月には、米中对立への警戒感を受けた投資家のリスク回避姿勢やインド経済の減速懸念を背景に対円で大きく下落しましたが、その後は、インド政府による景気刺激策などを背景に対円でやや値を戻しました。10月以降は、大手格付会社による格付け見通しの引き下げなどが警戒されたものの、当作成期末にかけてインド準備銀行（中央銀行）が市場予想に反して政策金利を据え置くと、対円で上昇基調となりました。

為替相場の推移



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、不良債権比率の低下が見込まれる銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、政治情勢の不透明感が解消し、設備投資の回復が期待されることから資本財・サービスセクターにも注目しています。

## ポートフォリオについて

(2019. 6. 18 ~ 2019. 12. 16)

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、資産の健全性が回復し、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績の拡大が見込まれた金融セクター、インフラ投資拡大の恩恵が期待された資本財・サービスセクターなどを組入上位としました。

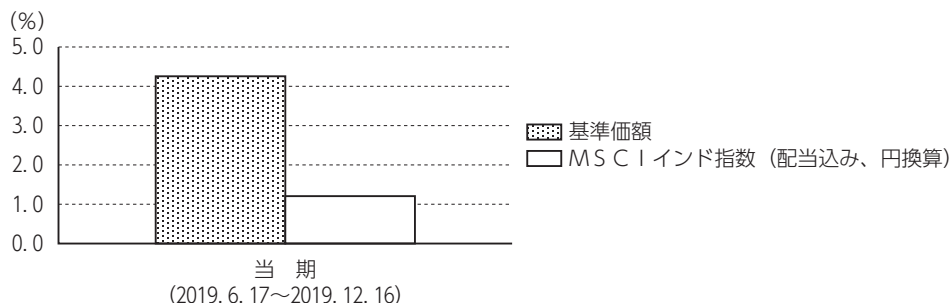
個別銘柄では、個人向けローンの拡大などを背景に堅調な業績が見込まれた民間銀行大手の HDFC BANK LIMITED（金融）や、豊富な資金力を背景に通信や小売り事業の拡大が期待された大手財閥の RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A（エネルギー）などを組入上位としました。

また、主要製品のプレミアム化を背景に利益率の改善が見込まれた靴メーカーの BATA INDIA LTD（一般消費財・サービス）や、優れた過去の実績を持ち今後の市場シェア拡大が期待された金融機関の CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND FINANCE COMPANY LTD（金融）などを買い付けました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2019年6月18日 ～2019年12月16日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,096	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、資産の健全性が回復し、流動性の改善などを背景に資金調達コストの低下が期待される銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、モンスーン期の良好な降水量を受けて消費拡大が期待されることから、一般消費財・サービスセクターにも注目しています。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 18～2019. 12. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0. 909%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7, 496円です。
(投 信 会 社)	(32)	(0. 433)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0. 433)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	12	0. 155	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0. 152)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 003)	
有 価 証 券 取 引 税	5	0. 066	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(5)	(0. 066)	
そ の 他 費 用	3	0. 044	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 035)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	88	1. 174	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

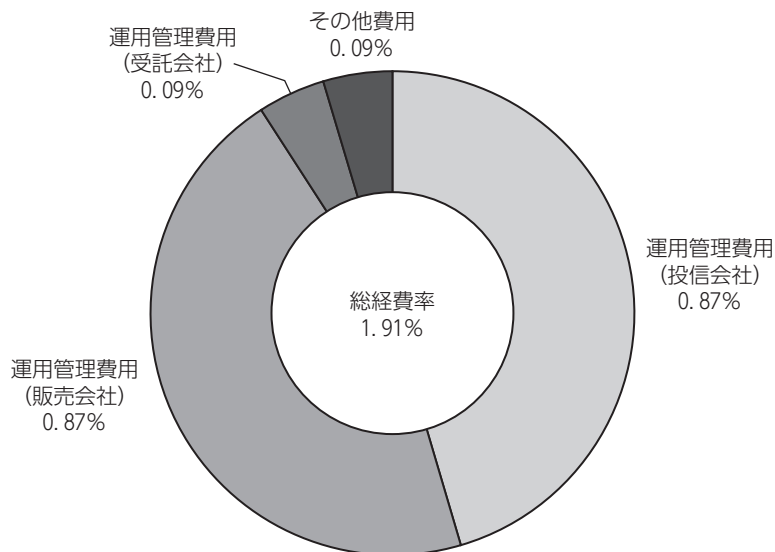
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月18日から2019年12月16日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	79,378	70,000	3,830,997	3,557,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年6月18日から2019年12月16日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	11,357,405千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,774,076千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.47

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	28,595,402	24,843,783	24,635,095			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	24,635,095	98.6
コール・ローン等、その他	361,223	1.4
投資信託財産総額	24,996,318	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲価をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.43円、1インド・ルピー=1.56円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(24,506,672千円)の投資信託財産総額(24,726,868千円)に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	24,996,318,666円
コール・ローン等	272,223,075
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	24,635,095,591
未収入金	89,000,000
(B) 負債	319,485,932
未払解約金	95,115,856
未払信託報酬	223,697,319
その他未払費用	672,757
(C) 純資産総額(A-B)	24,676,832,734
元本	30,605,357,584
次期繰越損益金	△ 5,928,524,850
(D) 受益権総口数	30,605,357,584口
1万口当り基準価額(C/D)	8,063円

\* 期首における元本額は34,907,780,256円、当作成期間中における追加設定元本額は883,121,889円、同解約元本額は5,185,544,561円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,063円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,928,524,850円です。

# ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

## ■損益の状況

当期 自 2019年6月18日 至 2019年12月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 35,033円
受取利息	3,242
支払利息	△ 38,275
(B) 有価証券売買損益	1,250,842,940
売買益	1,364,602,441
売買損	△ 113,759,501
(C) 信託報酬等	△ 224,370,434
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,026,437,473
(E) 前期繰越損益金	325,796,096
(F) 追加信託差損益金	△ 7,280,758,419
(配当等相当額)	( 1,389,773,550)
(売買損益相当額)	(△ 8,670,531,969)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 5,928,524,850
次期繰越損益金 (G)	△ 5,928,524,850
追加信託差損益金	△ 7,280,758,419
(配当等相当額)	( 1,389,773,550)
(売買損益相当額)	(△ 8,670,531,969)
分配準備積立金	1,967,181,721
繰越損益金	△ 614,948,152

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：61,191,735円（未監査）

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	108,433,313円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,389,773,550
(d) 分配準備積立金	1,858,748,408
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,356,955,271
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,356,955,271
(h) 受益権総口数	30,605,357,584口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

## 運用報告書 第24期 (決算日 2019年12月16日)

(作成対象期間 2019年6月18日～2019年12月16日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
株式組入制限	無制限

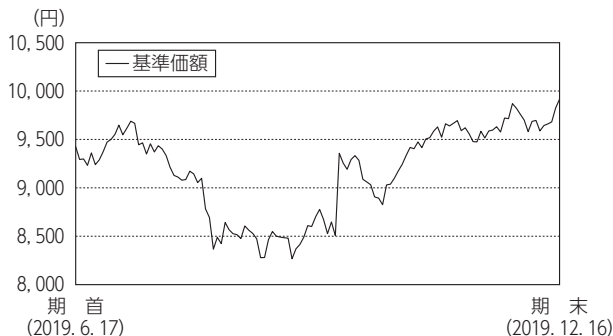
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式組比率	株式先物比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2019年6月17日	9,424	—	10,217	—	94.2	3.0
6月末	9,500	0.8	10,201	△ 0.2	95.5	3.0
7月末	9,054	△ 3.9	9,695	△ 5.1	95.6	3.0
8月末	8,491	△ 9.9	9,152	△ 10.4	94.7	3.2
9月末	9,333	△ 1.0	9,717	△ 4.9	95.6	3.2
10月末	9,630	2.2	10,138	△ 0.8	94.9	3.2
11月末	9,823	4.2	10,291	0.7	95.0	3.4
(期末) 2019年12月16日	9,916	5.2	10,340	1.2	95.1	3.4

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCIインド指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIインド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) は、MSCI Inc. が発表した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,424円 期末：9,916円 騰落率：5.2%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、インド政府が法人税減税などの景気刺激策を発表したことを好感し保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください

し。  
◆投資環境について  
○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より横ばいで推移しましたが、その後は、さえない企業決算や経営陣による弱い業績見通しに加えて目立った景気刺激策がなく、海外投資家に対する追加課税が盛り込まれた政府予算案が悪材料視されたことから、軟調な展開となりました。2019年8月以降は、米中の対立や市場予想を下回る実質GDP (国内総生産) 成長率の発表が懸念材料となった一方、新たな景気刺激策の発表や海外投資家に対する増税案の取り下げが好感され、一進一退の推移が続きました。9月半ばには、インド政府が法人税減税などの景気刺激策を発表すると大きく上昇し、その後も10月上旬からのフェスティバル・シーズンにおける堅調な個人消費への期待を背景に続伸しました。11月以降は、景気刺激策の発表が支援材料となったものの、大手格付会社による格付け見通しの引き下げや、さえない実質GDP成長率の発表などが重荷となり、横ばい圏で推移しました。

○為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落 (円高) しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、米中通商協議の進展期待によるリスク許容度の上昇などを背景に、対円で上昇して始まりまし。2019年8月には、米中対立への警戒感を受けた投資家のリスク回避姿勢やインド経済の減速懸念を背景に対円で大きく下落しましたが、その後は、インド政府による景気刺激策などを背景に対円でやや値を戻しました。10月以降は、大手格付会社による格付け見通しの引き下げなどが警戒されたものの、当作成期末にかけてインド準備銀行 (中央銀行) が市場予想に反して政策金利を据え置くと、対円で上昇基調となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ (社会基盤) 投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、不良債権比率の低下が見込まれる銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、政治情勢の不透明感が解消し、設備投資の回復が期待されることから資本財・サービスセクターにも注目しています。

◆ポートフォリオについて

主に、インフラ (社会基盤) 投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、資産の健全性が回復し、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績の拡大が見込まれた金融セクター、インフラ投資拡大の恩恵が期待された資本財・サービスセクターなどを組入上位としました。

個別銘柄では、個人向けローンの拡大などを背景に堅調な業績が見込まれた民間銀行大手のHDFC BANK LIMITED (金融) や、豊富な資金力を背景に通信や小売り事業の拡大が期待された大手財閥のRELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (エネルギー) などを組入上位としました。

また、主要製品のプレミアム化を背景に利益率の改善が見込まれた靴メーカーのBATA INDIA LTD (一般消費財・サービス) や、優れた過去の実績を持ち今後の市場シェア拡大が期待された金融機関のCHOLAMANDALAM INVESTMENT AND FINANCE COMPANY LTD (金融) などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成

期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

【今後の運用方針】

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、資産の健全性が回復し、流動性の改善などを背景に資金調達コストの低下が期待される銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、モンスーン期の良好な降水量を受けて消費拡大が期待されることから、一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当	期
売買委託手数料 (株式)	(	14)
(先物・オプション)	(	0)
有価証券取引税 (株式)	(	6)
その他費用 (保管費用)	(	3)
(その他)	(	1)
合計		24

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄  
株 式

(2019年6月18日から2019年12月16日まで)

銘柄	当			期			
	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
ULTRATECH CEMENT LTD (インド)	54.2	386,289	7,127	ITC LTD (インド)	1,803.8	699,452	387
MARICO LTD (インド)	632.291	375,704	594	AXIS BANK LTD (インド)	667.8	681,126	1,019
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND (インド)	812.034	343,265	422	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	398.3	561,185	1,408
TORRENT PHARMACEUTICALS LTD (インド)	105.4	261,801	2,483	TATA CONSULTANCY SVCS LTD (インド)	143.1	451,364	3,154
TECH MAHINDRA LTD (インド)	220.1	250,358	1,137	HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD (インド)	121.438	403,899	3,325
BATA INDIA LTD (インド)	92.7	244,897	2,641	HDFC BANK LIMITED (インド)	168.1	354,927	2,111
CITY UNION BANK LTD (インド)	675.239	236,046	349	MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	37.2	348,078	9,356
DABUR INDIA LTD (インド)	331.5	228,527	689	MARICO LTD (インド)	632.291	342,578	541
TVS MOTOR CO LTD (インド)	271.8	190,464	700	UPL LTD (インド)	210.7	297,245	1,410
EICHER MOTORS LTD (インド)	5.2	173,057	33,280	TORRENT PHARMACEUTICALS LTD (インド)	105.4	268,280	2,545

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2019年6月18日から2019年12月16日まで)

		買 付		売 付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 ( — )	千アメリカ・ドル ( — )	百株 3,983	千アメリカ・ドル 5,140
	インド	百株 ( 51,878.21 )	千インド・ルピー ( 2,689,780 )	百株 97,822.73	千インド・ルピー 4,289,683

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2019年6月18日から2019年12月16日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	4,762	4,742	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等		
			株数	株数		評価額	
						外貨建金額	邦貨換算金額
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
(アメリカ)							
ICICI BANK LTD-SPON ADR	15,070	11,087	16,830	1,841,714	金融		
INFOSYS LTD-SP ADR	5,646	5,646	5,691	622,784	情報技術		
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	3,660.06	3,660.06	16,451	1,800,339	エネルギー		
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	24,376.06 3銘柄	20,393.06 3銘柄	38,973	4,264,837 <17.3%>		
(インド)							
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND	—	8,120.34	257,008	400,933	金融		
ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURA	5,993.19	5,993.19	297,082	463,448	金融		
BALKRISHNA INDUSTRIES LTD	2,156	—	—	—	一般消費財・サービス		
GUJARAT GAS LTD	5,768.73	—	—	—	公益事業		
SRF LTD	—	243	80,262	125,210	素材		
AVENUE SUPERMARTS LTD	1,227.94	1,227.94	218,911	341,501	生活必需品		
AU SMALL FINANCE BANK LTD	2,838.79	2,838.79	225,697	352,088	金融		
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	1,597.69	1,597.69	242,920	378,956	資本財・サービス		
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	1,841	626.62	195,884	305,579	金融		
DEEPAK NITRITE LTD	—	2,203.07	77,228	120,476	素材		
CITY UNION BANK LTD	—	6,752.39	156,013	243,381	金融		
AXIS BANK LTD	15,207	8,529	641,380	1,000,554	金融		
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	1,168.5	796.5	574,670	896,486	一般消費財・サービス		
COLGATE PALMOLIVE (INDIA)	1,432.68	795.68	117,502	183,303	生活必需品		
TATA POWER CO LTD	20,992.39	—	—	—	公益事業		
ASIAN PAINTS LTD	896	896	156,257	243,762	素材		
HINDUSTAN UNILEVER LTD	2,629.22	2,629.22	527,474	822,859	生活必需品		
STATE BANK OF INDIA	20,114	20,114	668,891	1,043,470	金融		
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	—	1,564	90,344	140,937	資本財・サービス		
TITAN CO LTD	913	—	—	—	一般消費財・サービス		
BAJAJ FINSERV LTD	150	—	—	—	金融		
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	5,496	6,221	309,028	482,083	エネルギー		
ULTRATECH CEMENT LTD	446	748	305,378	476,390	素材		
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	6,042	5,169	874,982	1,364,972	金融		
ADITYA BIRLA FASHION AND RET	7,116.29	—	—	—	一般消費財・サービス		
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	—	272	83,079	129,604	生活必需品		
CUMMINS INDIA LTD	—	1,387.91	76,133	118,768	資本財・サービス		
DIVI'S LABORATORIES LTD	1,502.2	1,502.2	276,705	431,660	ヘルスケア		
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	—	5,910	83,271	129,904	一般消費財・サービス		
SHREE CEMENT LTD	135.42	120.42	245,462	382,922	素材		
TECH MAHINDRA LTD	—	2,201	167,683	261,585	情報技術		
TORRENT POWER LTD	—	3,444.59	93,761	146,268	公益事業		
AIA ENGINEERING LTD	723.41	1,155.41	190,192	296,699	資本財・サービス		
SOBHA LTD	1,774.03	—	—	—	不動産		
TVS MOTOR CO LTD	—	2,718	124,294	193,898	一般消費財・サービス		
BATA INDIA LTD	—	927	159,666	249,079	一般消費財・サービス		



銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
EICHER MOTORS LTD	—	52	114,580	178,745	一般消費財・サービス	
BAJAJ FINANCE LTD	830	570	232,101	362,077	金融	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	8,482	8,482	176,637	275,554	素材	
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	1,431	—	—	—	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	6,241.5	5,820.5	759,749	1,185,209	資本財・サービス	
BHARAT HEAVY ELECTRICALS	11,245	—	—	—	資本財・サービス	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	3,478	3,478	818,895	1,277,476	金融	
HDFC BANK LIMITED	6,350.4	10,793.8	1,364,174	2,128,112	金融	
RELIANCE INDUSTRIES LTD	1,565	835	132,172	206,188	エネルギー	
ITC LTD	18,038	—	—	—	生活必需品	
HERO MOTOCORP LTD	676	676	158,058	246,571	一般消費財・サービス	
BHARTI AIRTEL LTD	11,202.56	8,664.56	370,669	578,245	コミュニケーション・サービス	
UPL LTD	2,107	—	—	—	素材	
ABB INDIA LTD	938	938	139,504	217,626	資本財・サービス	
DABUR INDIA LTD	—	3,315	152,490	237,884	生活必需品	
HCL TECHNOLOGIES LTD	1,200	3,594	195,208	304,524	情報技術	
INDIAN HOTELS CO LTD	10,259.68	10,259.68	150,458	234,714	一般消費財・サービス	
インド・ルピー通貨計	株数、金額	192,205.62	154,182.5	12,281,872	19,159,721	
	銘柄数 < 比率 >	39 銘柄	42 銘柄		<77.8% >	
ファンド合計	株数、金額	216,581.68	174,575.56	—	23,424,559	
	銘柄数 < 比率 >	42 銘柄	45 銘柄		<95.1% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国 SGX NIFTY 50 (シンガポール)	百万円 837	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年12月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 23,424,559	% 94.7
コール・ローン等、その他	1,302,309	5.3
投資信託財産総額	24,726,868	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.43円、1インド・ルピー＝1.56円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（24,506,672千円）の投資信託財産総額（24,726,868千円）に対する比率は、99.1%です。

# ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月16日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>24,880,015,278円</b>
コール・ローン等	994,522,029
株式（評価額）	23,424,559,022
未収入金	153,146,364
差入委託証拠金	307,787,863
<b>(B) 負債</b>	<b>244,014,933</b>
未払金	155,014,933
未払解約金	89,000,000
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>24,636,000,345</b>
元本	24,843,783,372
次期繰越損益金	△ 207,783,027
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>24,843,783,372口</b>
<b>1万口当り基準価額（C/D）</b>	<b>9,916円</b>

\* 期首における元本額は28,595,402,524円、当作成期間中における追加設定元本額は79,378,114円、同解約元本額は3,830,997,266円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド24,843,783,372円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,916円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は207,783,027円です。

## ■損益の状況

当期 自 2019年6月18日 至 2019年12月16日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>141,495,126円</b>
受取配当金	138,732,745
受取利息	1,374,819
その他収益金	1,459,605
支払利息	△ 72,043
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>1,040,900,989</b>
売買益	2,355,521,556
売買損	△ 1,314,620,567
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>1,352,158</b>
取引益	63,684,156
取引損	△ 62,331,998
<b>(D) その他費用</b>	<b>△ 10,249,930</b>
<b>(E) 当期損益金（A+B+C+D）</b>	<b>1,173,498,343</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 1,645,900,522</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>273,997,266</b>
<b>(H) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 9,378,114</b>
<b>(I) 合計（E+F+G+H）</b>	<b>△ 207,783,027</b>
<b>次期繰越損益金（I）</b>	<b>△ 207,783,027</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。